

農作物の生育概況等について

1 気象経過

8月は、気温が高く、特に最低気温が高く推移した。また、局地的な降雨は多かったものの、降水量は、置賜地域で平年並み、村山、最上、庄内地域で平年より少なくなっている。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稻

- ・ 出穂後の高温の影響で登熟が早まっており、一部の早生品種では収穫が始まっている。
- ・ 県全体の刈取始期は9月11日頃（平年比－7日）、盛期は9月22日頃（平年比－7日）と見込まれる。
- ・ 高温の影響で、胴割粒及び白未熟粒の発生が懸念される。
- ・ 農林水産省が公表した8月15日現在の作柄概況は「やや良」となっている。

(2) 大 豆

- ・ 7月上旬からの断続的な降雨の影響で、生育量が不足した圃場が散見される。
- ・ 開花盛期は7月29日（平年比±0日）で、現在は子実肥大期となっている。

(3) 果 樹

- ・ りんご「つがる」の収穫は、生育の早いところでは8月15日頃から始まったが、高温の影響で着色遅延がみられ、収穫作業が遅れている。
- ・ もも主力品種「川中島白桃」の収穫盛期は、前年に比べ5日程度早い8月21日頃となった。大玉傾向で着色も良好であったが、7月下旬からの降雨の影響で糖度が低かった。
- ・ ぶどう「シャインマスカット」は、9月上旬から収穫が始まっている。

(4) 野 菜

- ・ えだまめは、中晩生品種の収穫期となっている。庄内地域では、7月の大雨の影響で、商品莢が少なく、出荷量が少ない。
- ・ 露地ねぎは、収穫盛期が例年並の8月下旬からとなっている。7月の大雨の影響で、最上地域を中心に、軟腐病等の腐敗症状が発生している。

(5) 花 き

- ・ 彼岸向けりんどうの収穫盛期は、例年より1週間程度早い9月上旬となる見込みである。
- ・ 彼岸向けきくの収穫盛期は例年並みの9月中旬になると見込まれる。

3 当面の主な技術対策

〈水 稻〉適期刈取り、適正な乾燥・調製の徹底

〈果 樹〉もも、りんご等の適期内収穫と厳選出荷、さくらんぼの双子果対策、各樹種の高温対策・病虫害防除対策の徹底

〈野菜花き〉適期収穫、肥培管理の徹底による草勢維持、露地栽培の排水対策の徹底、ハウス栽培の温度管理の徹底、各種病虫害の適期防除

〈農作業安全〉熱中症や農作業事故を防止するための基本的な対策の実施